

粉炭

大自然の法則から今、偉大な力を得る。

次代の新エネルギー誕生。

が地球を守る

里山を侵食する竹、間伐後そのまま放置された林地残材、食物残渣など、経済効率が悪いためにこれまで廃棄、あるいは焼却処理されてきた大量のバイオマス（生物由来）資源を炭化し、その地域内で活用することで循環型社会を目指します。



のんびりとした自然の中で、取り組んでいます!!



山仙プール式平炉釜の特長

(2012年 特許取得済)

- 木質系（木・竹）以外にも、あらゆる生物資源を炭化できる
- 化石燃料を一切使用せず、無動力で均質な炭ができる
- 初期投資額は、同一製炭できるロータリーキルン炉と比較すると格段の低コストを実現
- 600℃～1000℃の高温で炭化、加えて炭素率の調整が可能。
- 大量に製炭できるため、低コストを実現（1釜で約10t／7日間）
- 炭化材料の下処理が不要（すべての部位を利用できる）
- 建機の利用により少人数運営が可能、また女性でも生産に従事できる



STOP! 地球温暖化!! 世界に示すカーボンニュートラルの実践。

地中から掘り出す化石燃料とは異なり、生物由来のバイオマス資源を炭化し、地中に埋めることで二酸化炭素を固定化することができます。

新しい製炭法に、環境破壊の危機に瀕する海外も注目! 技術移転を続々、展開中!!

- 産官学連携事業としてマレーシアに技術導入、2015年より釜の稼働を開始。
- 国際協力機構（JICA）事業として、2014年11月よりラオスにて技術移転調査を開始。
実施企業（有）山本粉炭工業

全てに無駄のない炭化技術

たとえば木であれば、すべての部位で利用が可能です。つまり、炭化に際して木材の枝、根、株、皮の全て利用でき、不必要な部位がありません。※従来型の炭釜では、枝や皮を下処理で除いたのち、芯の部分だけを炭化。

バイオマス資源に注目!

竹・端材・樹皮、広葉樹・針葉樹・枝・もみがら・バカス・コーヒーかす・野菜生産後の残渣（とうもろこしの芯・菌床、ねぎ、ほか）すべて生物由来の資源として活用できます。

※これまで処分してきたあらゆるバイオマス材につき、炭化の試作および活用方法を含めたご相談に応じます。

拡がる木粉炭の用途

農業用（水稻・野菜・果樹・堆肥混合用） 畜産用（飼料・臭気防止） バイオマスボイラー 燃焼用 融雪用
水質改善用 ゴルフ場 園芸用 電磁波遮断 建材用 冶金 住宅調湿用 工業原料 ほか

※ 木炭は地力増進法による政令指定土壌改良材

山仙プール式平炉釜による設備のご相談、バイオマス炭の用途開発、商品の共同開発など気軽にご相談ください。

【営業品目】

- 土壌改良用粉炭（30リットル・フレコンバック）●燃料用木炭
- 飼料用粉炭●食品添加用炭パウダー●竹粉パウダー

<住宅用>

- 和紙で作った炭・ゼオライトシート
- 床下用（竹炭マット、木炭マット、竹炭ゲル）●埋設炭
- 竹炭入り湿気とり（引き出し用・くつ用・タンス用）

(株)テクノスナカタ 山仙事業部

広島市佐伯区海老園 2-19-24-15

TEL:082-923-5080

masa@technos-nakata.com

www.technos-nakata.com/ テクノスナカタ

